

中部方面混成団全国初の総合訓練

かけはし



編集・発刊

中部方面混成団
本部広報室

TEL077-523-0034

第四十七普通科連隊

即応予備自衛官

あいば野演習場に集結

「敵の侵攻を阻止せよ」

残暑厳しい練武の地、

あいば野演習場において、

平成二十五年九月十二日

から十四日の間、中部方

面混成団（団長 武政賢

一一佐）は、第四十七普

通科連隊（連隊長有浦一

佐）の総合訓練を全国と

しては初めて実施した。

陣地構築に続く防衛戦

闘においては、常備自衛

官・即応予備自衛官が一

体となり、与えられた任

務を完遂し、敵を圧倒撃

破した。



統裁官 武政1佐

編成完結式



敵を待ち構える小銃手



あいば野演習場に集結する即応予備自衛官



併せて、中国、四国地区の雇用企業十二社、
即応予備自衛官隊員家族及び協力団体に
対して、総合訓練の研修を行った。

企業主・協力団体等

総合訓練研修

第四十七普通科連隊

初の連隊総合訓練

第四十七普通科連隊（連隊長 有浦隆 佐）は、九月十二日から九月十四日までの間、あいは野演習場において、連隊創立初となる練成訓練を実施した。本訓練は、二年間に亘る長期にかけて準備した「連隊長が指揮する初めての練成訓練」であり、連隊長は、「敵を意識」「最良の指揮手順」「完全掩体の構築」の三点を要望事項に掲げ、年度当初から、部隊ごと各種の訓練を行い疲労困憊の中でも任務を完遂するため、精神力及び技能の向上に努めた。

九月十二日に統裁部の車両点検を受け、翌十三日早朝に陣地地域に前進し、その後、作業工程及び工事の進捗状況を把握・修正しながら、妥協することなく完全掩体を構築した。連隊は、堅固な陣地を完成した後、戦闘予行により戦い方を徹底し十四日の防御戦闘において強力な敵の侵攻を阻止して任務を完遂した。



戦闘指導を行う有浦連隊長



敵情の連絡を受ける携帯対戦車弾手



敵情を報告する小隊陸曹



迫撃砲の射撃準備をする隊員



敵戦車を捕捉する対戦車誘導弾

連隊BCTC訓練 （近江の盾作戦発動）

連隊は、七月二十三日から二十九日の間、指揮所訓練センター（兵庫県川西市）においてBCTC訓練を実施した。

本指揮所演習を、総合訓練に向けて最も重視する練成訓練の一つと位置づけ、これまで数次に渡る連隊C PXの成果を反映した全搬作戦計画を携えて訓練に臨んだ。連隊は、これまで積み上げてきた指揮幕僚活動及びICE操作の能力を最大限発揮して、来たる総合訓練に向け更なる能力向上に努めた。

連隊総合訓練に 向け各中隊始動！

連隊は、今年最大の目標である創立初の総合訓練に先立ち、部隊の作戦規定（SOP）を策定し、その徹底を図るとともに、当初、障害の構成、完全掩体の構築を各タイプ別訓練で練成した。特に、掩体の構築に関しては敵を意識し、かつ撃てることを追及し自らの命を守る掩護土層から手榴弾孔に至るまで妥協せず構築し、常備・即自、「共に練磨」を具現した。



第四陸曹教育隊



潜入体験 (共通中隊)



低い姿勢で迅速に行動する隊員

共通教育中隊は八月二十六日、あいば野演習場において、第一二三期二次陸曹候補生課程入校学生に対して、課目「潜入体験」を実施した。本課目は、機関銃の実射、C4実爆による砲弾落下状況現示等の実戦的な状況下、分隊長の命令・号令に応じて戦闘動作を行わせ、基礎的戦闘動作の重要性を認識させることを目的とした、陸曹候補生課程の課目の中でも重要な教育課目の一つである。

実弾・実爆の中で戦闘行動となることから分隊長である学生は、砂盤を使用して、分隊長である学生に綿密な命令下達を実施した。

分隊攻撃前進間においても、頭上を実弾が飛び交う中、分隊長は、短節で明確な前進号令を発し、分隊員はその号令に応じる正確・機敏な躍進やほふくで目標に緊迫した。突撃後の分隊員の全身には、実爆で舞い散った砂利等が付着していた。

学生は、まさに実戦感覚で基礎的戦闘動作の重要性を認識した。

障害通過運動 (普通科中隊)

普通科教育中隊は七月十八日、大津駐屯地において、第一二三期陸曹候補生課程入校学生に対して、課目「障害通過運動(武装障害走)」を実施した。

本課目は、十八種類の障害を通過することにより、陸曹として必要な体力・氣力を総合的に練成することを目的とした課目であり、各種地形・氣象を克服し、いかなる時期及び場所においても戦闘を遂行する能力が求められる普通科隊員にとって必至課目である。照りつける太陽の下、準備の段階から、不安そうな表情を浮かべる学生もいたが、いざスタートラインに立つと全員が、闘志をみなぎらせた表情に豹変し、助教や同期からの激励の中、全力で障害を通過した。ゴールして異状の有無を区隊長に報告した学生その表情は、清々しい表情であった。



網登降障害を行う隊員

家族オリエンテーション



隊は(隊長 谷 俊彦一佐)八月八日、平成二十五年前期転入隊員の家族に対して、「転入家族オリエンテーション」を実施した。

今回は三家族八名に対し、新居住地における家族の不安解消と転入部隊に対する信頼感の醸成のため、当初隊舎内において部隊の概要と隊員職務の特性や、駐屯地内及び駐屯地周辺地域の説明を行うとともに、広報装備品展示場において、戦車や戦闘機の見学案内を行った。その後、マイクロスパスにより、大津駐屯地周辺地域の市役所、主要な病院・駅等の公共施設、スーパーマーケット及びホームセンターなどの生活施設を案内した。案内・説明を担当した隊付准尉の物腰の柔らかい懇切丁寧な説明の甲斐もあり、参加した家族からは、「不安も薄れ、また子供も喜び参加して良かった。」との声もあり、大成功に終わった。

へり体験搭乗

四曹教友の会 久保中 秀樹

「ヘリコプターの体験搭乗に参加してみませんか？」今年、「第四陸曹教育隊友の会」に入会した私に、このようなお誘いがありました。

七月の当日は、天候にも恵まれ、まさにパイロットの開口一番の挨拶であった「絶好のフライト日和」でした。

機内に乗り込むと離陸前の振動と大きなエンジン音に緊張し、その我々の表情を感じ取ったのか「本日はファーストクラスを用意しました。どうぞ上空からの景色を楽しんでください。」とのパイロットからのユーモアある機内アナウンスで、我々の緊張を和らげてくれました。十分間のあつという間の飛行でしたが、普段私たちがあまり出ない貴重な体験ができました。またこのような訓練見学等のお誘いがあれば、参加したいと思えます。



UH-1 と記念撮影

第一〇九教育大隊



予備自衛官等訓練開始

第一〇九教育大隊（大隊長 猪股倫夫 二佐）は、七月十八日から平成二十五年度予備自衛官招集訓練（約一七〇名）及び予備自衛官補招集教育訓練（約一四二〇名）の担任を開始した。今年度も幅広い年齢層（十八歳〜五十九歳）の隊員が中部方面隊管内から大勢出頭する。特に、晴れて予備自衛官補として採用され、始めて教育訓練に参加した出頭者は皆やる気に満ち溢れ、訓練に対する意気込みを感じさせてくれる。この訓練に係る各中隊基幹隊員等は新入隊員教育で培った経験を活かし厳しくも懇切丁寧に愛情を持って隊員に接し、体調管理面にも十分留意しながら招集訓練を進めている。

これからも大隊は、活気に溢れかつ緊張感のある教育訓練を目指し、何事にも明るく元気に前向きに取り組み所存である。



銃を持つての基本教練を演練する予備自衛官補隊員



防護マスクの着用要領を教わる予備自衛官補隊員



訓練開始式において元気良く申告をおこなう予備自衛官補隊員

家族オリエンテーション



家族の紹介

大隊は、八月八日の駐屯地夏祭り行事に併せ転入家族に対するオリエンテーションを行った。各中隊等から五家族（十八名）の隊員家族が参加し、大隊長挨拶に引き続き、総務係長から大隊が行っている教育訓練の概要及び福利厚生等について説明を行い、新入隊員教育等の訓練内容並びに共済組合の事業内容に興味を持って熱心に聞き入っていた。またこの間、家族紹介を行い家族間の交流を図る事が出来た。

夕方、雷雨に見まわれ残念ながら盆踊りは中止となったが、夕刻には雨も上がり予定どおり琵琶湖花火大会が行われた。そして夏火が終わった後、各ご家族とも満足げに夏の思い出を胸に駐屯地を後にした。今後も大隊は、家族支援事業を重視して隊員ご家族へ情報を発信したいと考えている。

三二六中隊 伊賀上三曹

男の子出産

おかげさまで、この度八月二十日に無事長男を出産しました。

妊娠中は体調を崩すこともなく、子供もお腹の中で順調に育ち、生後一ヶ月が経った今もますます元気に成長してくれています。

私が考えていた子供ができる前の妊娠・出産のイメージとは、母親と子供二人で頑張り乗り越えるものだと思っていました。しかしそうではなく、出産予定日六週間前まで勤務させていただきましたが、妊娠が分かってから産休に入ると、職場では中隊の方々や身体が冷えないようにと毛布を持ってきて下さったり、力仕事を手伝って下さったり、また、家では主人が家事を分担してくれたり、様々な場面で本当に皆様に労わっていただきました。

私たち夫婦のもとに生まれて来てくれた子供に感謝と愛情と、そして周りの人々の支えがあったからこそ無事に生まれてくれたことを伝えながら育てていこうと思えます。子育ては新隊員を教育する上でも共通し、参考になる事も多くあると思うので、職場復帰した際にはこの経験を活かし部隊に貢献したいと思えます。



長男を出産した伊賀上三曹

第二一〇教育大隊



大隊射撃競技会・持続走競技会

第一〇教育大隊（大隊長 玉木章二 二佐）は平成二五年九月三日及び六日の二日間において大隊（射撃・持続走）競技会を実施した。

各中隊等は本競技会における大隊長の要望事項である「射撃規律の厳守」「安全管理」の2点を具現すべく中隊長等を核心として中隊・個人の名誉のため、日頃の練成の成果を発揮し競い合った。

また、この際「団友の会」の激励を受け、隊員は更に奮起した。

その結果、射撃競技会、団体の「優勝」大隊本部 個人の部「第一位」田淵曹長 また持続走競技会、団体の部「優勝」第三一七共通教育中隊 個人の部「第一位」久保三曹がそれぞれ見事「栄冠」を勝ち取った。

大隊は一二月に実施される団競技会へ向けて引き続き練成を続ける。



中隊・個人の名誉をかけて力走する隊員



表彰式



射撃規律の厳守

予備自衛官（技能）訓練

第三二一共通教育中隊

三曹 山田 陽一

今回初めて予備自衛官（技能）訓練を担当するにあたり、各種技能を有する人生経験豊富な彼等がどのように教育訓練に臨んでくれるのか不安な面もありました。

しかし教育が始まると、皆真剣に取り組む、自衛隊の事に興味津々で、解らない事があれば積極的に質問する等、非常に有意義な教育訓練となり、所望の練度に到達させることができました。

今回の教育を通じて予備自衛官（技能）の方々に対して、頼もしさを感じるとともに、自分自身も身が引き締まる思いで教育に専念することができ、貴重な体験となり、今後の教育に活かし、機会があればまた担任したいと思いました。

生活体験



駆け足で訓練場所へ移動



職種訓練を行う予備自衛官

第一〇教育大隊は平成二五年七月四日～六日までの間、百十四名、職員五七名の生活体験入隊を支援した。

生活体験入隊では、基本教練、体力検定、一〇km行進訓練、格闘訓練及び野外衛生等の各種訓練を体験した。

特に一〇km行進では、迷彩服、半長靴で猛暑の中、全員で声を掛け合いながら一生涯命行進して一人の脱落者も出さずことなく完歩することができた。

生活体験を終えた職員達は、「グループ内の団結の大切さを修得することができた。」

人事部人材育成スタッフの方からは「各班長の教育要領が素晴らしく大変参考になりました。」と感想を述べられた。

この三日間の生活体験入隊を通じて規律心・団結心を養うとともに自衛隊に対する理解及び信頼感の醸成を図ることができた。

中部方面混成団 最前任上級曹長 大内耕二准陸尉

紹介

平成二十五年八月一日付で、中部方面混成団最前任上級曹長に大内耕二准尉が着任した。



最前任上級曹長業務方針

『鬼手仏心』

プロフィール

- 生年月日 昭和三十八年三月十日
 - 出身地 兵庫県
 - 趣味 バレーボール、家庭菜園
 - 主要勤務歴
 - 第一〇九教育大隊入隊 (大津)
 - 第三施設大隊第四中隊 (千代保)
 - 第六次イラク復興支援群施設隊 (大久保)
 - 第三施設大隊本部管理中隊 (大久保)
 - 第三施設大隊第三代最前任上級曹長 (大久保)
- 中部方面混成団第四代最前任上級曹長 (大津)

駐屯地夏祭り

平成二十五年八月八日、大津駐屯地（司令 武政一佐）は、駐屯地夏祭りの開催に伴い、駐屯地を一般開放した。夏祭りは、大津市内で開催される「びわ湖大花火大会」に併せて、駐屯地を開放、地元では目前で花火が鑑賞できる穴場スポットとして知られており、花火の鑑賞に訪れた約三〇〇〇人の来場者は琵琶湖の湖面を彩る色とりどりの花火に大きな歓声をあげていた。



湖面を彩る色とりどりの花火



大勢の人で賑わう駐屯地



夜空に広がる大花火

友の会 第一〇九教育大隊激励・慰問行事

中部方面混成団友の会（会長 田中清司）は、九月六日役員八名が、団隷下部隊である、第一〇九教育大隊（香川県善通寺市）を訪れ、激励・慰問した。大隊が実施する持続走競技会において、田中会長の激励・号砲により各隊員は出走、ゴール地点では友の会役員が、一人一人に「お疲れ様」と声をかけながら、ペットボトルを手渡し、隊員を労い激励・慰問行事を終了した。



挨拶・激励をする田中会長



水分を配る友の会役員

滋賀県庁職員生活体験

中部方面混成団（団長 武政 賢一 一佐）は、七月十一日から十二日の二日間、滋賀県庁職員（十三名）に対して隊内生活体験を支援した。

生活体験を通じて、災害現場での自衛隊の管理要領の一端を紹介すると共に、人命救助システムの展示及び取り扱い操作の説明等を行った後、実際に県庁職員に人命救助システムの操作体験を実施し、本生活体験を終了した。



人命救助システムを操作体験する県職員

定年退官

- 第一〇九教育大隊 陸曹長 中西 健次（左）
- （八月十一日付）
- 混成団本部 准陸尉 饗庭 達弥（右）
- （八月十三日付）



第4陸曹教育隊 3等陸佐 則貞 昭秀 (10月1日付)



第47普通科連隊 1等陸曹 加志川 勝昭 (8月4日付)

